

オスプレイの飛行訓練から市民のいのちと安全を守るための緊急申し入れ

北九州市長 武内和久様

2025年3月25日

日本共産党北九州市会議員団

団 長 荒 川 徹

副 団 長 高 橋 都

幹 事 長 山 内 涼 成

政 調 会 長 大 石 正 信

議 員 伊 藤 淳 一

議 員 永 井 佑

議 員 宇 土 浩 一 郎

本市は、3月24日付でホームページにおいて、「防衛省九州防衛局から陸上自衛隊オスプレイ（V-22）の飛来について、情報提供がありましたので、お知らせいたします。」として、3月26日（予備日27日）に同機が飛行することを明らかにしました。

オスプレイは、墜落事故が相次いでおり、あまりの犠牲者の多さから、米メディアからも「空飛ぶ棺おけ」「ウィドー・メーカー(夫を亡くす妻を製造する機械)」と揶揄されるほどです。2023年11月、米空軍のオスプレイが屋久島沖に墜落し、8人の乗組員が死亡した事故は、日本国内初の死亡事故で、実戦配備後では最多の死亡者数の事故でした。

現在、オスプレイを運用している国は、米国以外では日本だけです。

今回のオスプレイ飛来に際して、市民のいのちと安全を守る立場から、本市として防衛省九州防衛局に対し、以下のように要請するよう強く申し入れます。

記

- 一、 3月26日（予備日27日）の飛行訓練の際には、本市の市街地・住宅地上空を飛行しないよう、強く要請すること。
- 二、 今後、オスプレイの本都市域内における飛行訓練は行わないよう、強く求めること。

以 上